

②-15：3Dパス図形

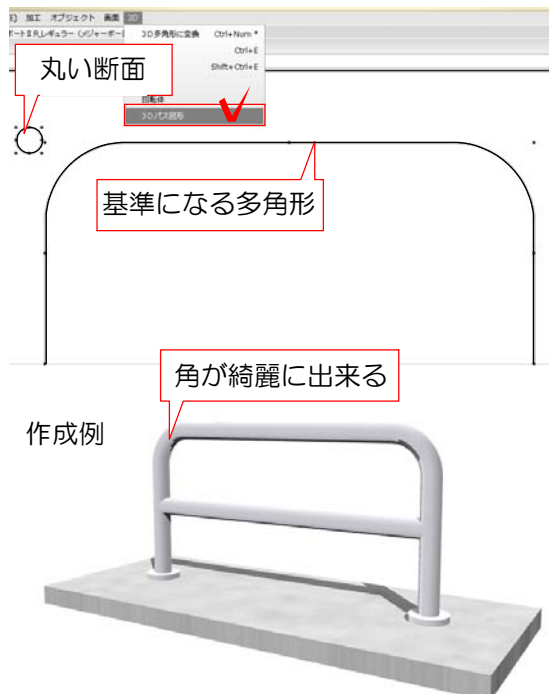
直線や曲線に沿って、同一の断面を持つ図形を作成する機能です。

曲がったポール等の繋ぎ目を綺麗に作ることが出来ます。

断面になる3D多角形と基準になる補助線か3D多角形か直線を作成します。

断面になる3D多角形をドラッグして基準になる図形の上でCtrlを押したまま離すと、作成図形の選択の画面が出ます。

「3Dパス図形」をクリックしてOKを押します。



メニューを使用する場合は対象の図形をすべて選んだ状態で、3Dメニューから3Dパス図形を選択し、基準になる図形をクリックすることで同様の図形を作成することができます。

基準になる図形を正確に書くことがポイントです。



【オーセブncadに戻ってからの再編集について】

eE-Formerで作成した図形の中には一度オーセブncadに戻ると3D多角形のグループになっている図形があります。3Dパス図形・回転体・多段柱体・柱体・錐体等がそれに当たります。オーセブncadに行かずにeE-Formerのデータ(sdd)で保存すると形式を保ったまま保存できます。